

# 令和5年度 利用学習報告



地底の森ミュージアム  
仙台市縄文の森広場



## 目次

I	利用学習の基本的な考え方	2
	(1) 文化財普及と利用学習	
	(2) 学校教育における位置づけ	
	(3) 実施までの流れ	
II	利用学習参加校及び体験内容一覧	3
III	利用学習報告書(実績まとめ)	4~9

## I. 利用学習事業の基本的な考え方

### (1)文化財普及活動と利用学習

仙台市ではこれまで文化財の保護・活用への理解と必要性について、市民の理解と認識を深めるために「文化財せんだい」等の各種広報誌の発行や埋蔵文化財の発掘調査時における遺跡見学会の実施など、数々の普及啓発活動を行ってきた。その成果もあり、一般に文化財に対する市民の関心は高く、また生涯学習への意欲も強い。

仙台市では平成4年に「仙台市旧石器の森・原始古代村構想」を策定した。昭和55年に保存が決定された縄文時代の遺跡である山田上ノ台遺跡と、旧石器時代の遺跡である富沢遺跡、多賀城以前の役所跡である郡山遺跡などを連携させながら、歴史教育の場としてそれぞれを整備していこうとする構想である。この構想を具現化する施設として、平成8年11月、遺跡の緊急保存を必要とした富沢遺跡に地底の森ミュージアムが開館した。以来、学校教育との連携を1つの大きな柱に掲げ、館の予算で送迎バスを借り上げ、見学や体験を中心とした学習活動を展開する利用学習事業を行ってきた。平成18年7月には分館として山田上ノ台遺跡に仙台市縄文の森広場が開館し、両施設を活用した利用学習事業が実施できることとなった。

また、平成14年度の仙台都市圏「どこでもパスポート」にはじまる県内各圏域でのジュニアパスポート等を利用した見学も活発である。平成18年度からは「どこでもパスポート」の提示により平日も無料で入館できるようになったことで、学校が終わってから来館する児童・生徒の姿も見られる。利用学習事業参加の児童・生徒が家族や友人とともに再来館することも多く、本事業は学校教育との連携を促進するだけでなく、文化財に親しみ、愛護する精神を育成するきっかけとしても効果的である。

### (2)学校教育における位置づけ

学校教育の中での博物館利用については、令和2年度から全面実施された学習指導要領の中でその必要性が述べられている。小学校学習指導要領・社会科「第3 指導計画の作成と内容の取扱い」では、「各学校においては、地域の実態を生かし、児童が興味・関心をもって学習に取り組めるようにするとともに、観察や見学、聞き取りなどの調査活動を含む具体的な体験を伴う学習やそれに基づく表現活動の一層の充実を図ること。」「博物館や資料館などの施設の活用を図るとともに、身近な地域及び国土の遺跡や文化財などについての調査活動を取り入れるようにすること。また、内容に関わる専門家や関係者、関係の諸機関との連携を図るようにすること。」と記載されている。

### (3)実施までの流れ

事業の参加校は、前年度末に各学校宛に実施要項を送付して応募校を募り、新年度に決定している。参加決定後は、来館前に当日の活動内容や体験等について、利用館と事前に打ち合わせをして利用学習計画書を提出してもらい、実施後は、事後指導の機会を利用してまとめられた児童生徒の感想などを、利用学習報告書と一緒に提出(感想まとめ等は任意)してもらっている。実施開始時期は6月からである。これは、令和2年度からの学習指導要領の改訂により、小学校6学年の社会科の歴史学習が6月後半から始まることに合わせている。実際の活動については、令和2年度から4年度までは新型コロナウイルス感染症の影響もあり、内容や収容人数の制限、手指消毒の徹底などをして実施していた。令和5年度からはそれらの制限をなくしたが、感染拡大がないように細心の注意を払ってこの事業を進めている。

## Ⅱ. 利用学習事業 参加校及び体験内容一覧

No.	利用日		学 校 名	参加 学年	参加人数		体験活動								施設利用	
							地底の森	縄文の森 (土ミ=250g/土小500g)								
								勾玉	石アケ	土ミニ	土小	土面	土笛	火起		
1	6月1日	木	中田小学校	6	85	5	85	85								両館
2	6月15日	木	荒井小学校	6	69	4			69							縄文のみ
3	6月16日	金	八本松小学校	6	62	4	62				62					両館
4	6月20日	火	聖ドミニコ学院中学校	中123	42	6	42			42						両館
5	6月20日	火	東仙台小学校	6	68	3	68		68							両館
6	6月23日	金	連坊小路小学校	6	81	4	81		81							両館
7	6月27日	火	岡田小学校	6	23	2		24								縄文のみ
8	6月27日	火	立町小学校	6	23	3	23		23							両館
9	6月29日	木	大和小学校	6	87	6	87		87							両館
10	6月30日	金	川前小学校	6	87	5	87		87							両館
11	7月4日	火	向山小学校	6	45	3	45		45							両館
12	7月7日	金	県立聴覚支援学校	6	4	2				4						縄文のみ
13	7月11日	火	台原小学校	6	97	6	97			97						両館
14	7月11日	火	秋保小学校	6	8	1		8							8	縄文のみ
15	7月13日	木	太白小学校	6	22	2	22				22					両館
16	9月26日	火	東長町小学校	6	117	6			118							縄文のみ
17	10月31日	火	茂庭台小学校	6	35	4	35			35						両館
18	12月8日	金	長町南小学校	6	107	5	107	107								両館
			合 計		1062	71	841	224	578	178	84	0	0	8		

### Ⅲ 利用学習報告書(実績まとめ)

☛参加校(全18校：小学校16校・中学校1校・聴覚支援学校1校)

☛文章表記は、すべて原文のまま記載している。

#### 1.『利用学習に参加して、施設を活用した学習活動が期待通りできましたか?』 回答18校

A:できた	B:できたが、期待通りではなかった	C:できなかった
17	1	0

☛この質問に対しては、回答のあった参加校18校中17校が「できた」という評価だった。以下その理由について内容を紹介する。(○肯定的な意見 △今後の検討課題 ■否定的な意見 ※複数回答校あり)

- 体験活動やワークブックを利用した活動が充実していて、児童が意欲的に学習に向かうことができたため。
- 社会科で縄文時代の学習を行ってから活動ができたことで、興味関心を高めることができた。また、学校で学習したことを体験したことで、学びが深まった。
- 児童が自分たちで見学・体験する時間を確保していただきながらも、適宜アドバイスを職員の方やボランティアの方がしてくださったおかげで、有意義な学習の時間にすることができたため。体験活動も充実していて楽しみながら学習することができた。
- 体験活動を通して、当時の人の苦労などを体感することができたから。また、実際に遺跡を見たり触れたりしたことで、初めての歴史学習に対してより興味関心を喚起し、縄文・弥生時代だけでなく、それ以降の学習にも意欲的に取り組んでいる児童が多く見られるから。
- 社会科の授業で、ちょうど歴史の学習に入ったところでしたが、教科書での扱いが数ページだったこともあり、事前に旧石器時代と縄文時代について調べ学習を行いました。歴史が好きな児童も多く、意欲的に学習することができました。1グループの人数構成を少人数にし、それぞれの担当の先生方に分かりやすく説明していただいたので、理解が深まり今後の学習に対するより一層の意欲を持つことができました。「実際にこの場所にあった」ということは、子供たちの記憶に残る学習になったと思います。
- 学習意欲が高い子供たちですので、ワークシートがあり、記入しながら見学する方法は子供たちにとっても合っていたと思いました。
- 児童は、勾玉作りを実際に体験したり、発掘された土器や復元された竪穴式住居を見学したりして縄文時代の人々の生活を身近に考え、感じる取ることができた。
- 勾玉作りでは「自分の力だけで完成させられた」と満足そうに話す様子も見られた。縄文人の勾玉作りへの工夫を感じることもできた。
- 「地底の森ミュージアム」では、体験活動や野外広場での旧石器人との出会いなど、児童の興味を高める活動が用意されていて、活動成果が感じられた。また、「縄文の森広場」での「石のアクセサリ作り」で縄文時代に興味を持ち、館内展示や館外の復元された遺跡などを通して、学ぶ意欲を高めていた。いずれも楽しみながら意欲的に学習に取り組むことができていた。
- 実際に展示施設を見ることで、教科書や資料集でイメージしていたものが具体化しながら確認することが

できた。竪穴住居に入ることで実際の広さが分かったり、石器で紙を切ることで道具の使い道を想像することができた。様々な体験、見学活動を通して当時の生活を想像できる手立てとなった。

- 実際に遺跡の見学や石器の体験活動を通して、当時の人々の生活に触れることで子供たちの理解が深まりました。また、施設見学後の子供たちの歴史学習に対する意欲が高まりました。
  - 学校での社会の授業では、浅くしか学べなかった縄文について、興味を広げるような活動ができ、子供たちは生き生きと学習することができました。
  - 縄文時代について事前に学習していたため、今回の活動・見学を通して知識をより深めることができたから。
  - 教科書で見ていた縄文土器を実際を作る体験をすることができ、また、見学の際には詳しい説明を聞くことができ、子どもたちにとって非常に充実した一日となったから。
  - 児童が実際に体験することが多く、旧石器時代や縄文時代の人々の暮らしについて理解を深めることができました。
  - 丁寧な説明をしていただきながら、見学できたので、縄文人の暮らしを深く学ぶことができた。火起こしや勾玉作りの体験を通して、縄文人の暮らしを実感として学び、よい経験になった。
  - 職員の方々が展示物について詳しく説明してくださり、子供たちも大変勉強になったようでした。学校の歴史の授業とつながり、歓声を上げる子もいるほど、夢中になって話を聞いていました。
  - 石のアクセサリー作りは、ふだん体験できない製作だったこともあり、楽しみながら作っていました。帰ってからも、石のアクセサリーを首から下げている子もいました。ありがとうございました。
  - 12月。冬場の実施となったが、たまたま暖かく、昼食等の場所の不安がなかったことは今回、大きかったです。小学校生活最後の校外学習となったことで、本校としては1年生から何度となく活用させていただいている地底の森ミュージアムの地域財としての素晴らしさを子供たちも再認識することができたと思うし、強いては地域の良さを再認識することにつながる活動になったと思います。縄文の森広場についても、学習をする「材」としての質の高さを改めて感じました。特に遺跡に直に触れながら縄文人の生活に思いを馳せる活動ができることは、地底の森ミュージアムの活動と合わせて、学習効果が高かったと感じます。
- △ 地底の森ミュージアムでの展示物見学の時間が、もう少しあってもよかった。

2.『担当として本事業に今後も参加したいと思われますか？』

回答18校

A: 思う	B: わからない	C: 思わない
17	1	0

☛この質問に対しても、参加校18校中17校が「思う」という評価だった。以下に、その理由について内容を紹介する。(○肯定的な意見 △今後の検討課題 ■否定的な意見 ※複数回答校あり)

- 展示物などの資料が多く、教科書を利用しての学習だけでは分からない部分を補うことができたため。
- どのプログラムも児童が興味を持って取り組める内容になっており、学校での学びが活かされると思った
- 社会科の歴史の縄文時代についての学習が深まるだけでなく、自分たちが住んでいる地域の歴史についても触れることができることは児童にとってとても意義ある活動のため。
- 児童が意欲的に活動に取り組む中で、より興味深く歴史に触れることができたから。
- 利用学習を通して、児童の学習活動への意欲が高まっていることを感じる事ができたから。

- 歴史の学習において、実際の遺跡を見たり、専門に携わっている方々のお話を聞いたりすることは、子供たちにとって大変有意義であると、改めて実感した1日でした。
- 「縄文の森広場」を利用して見学したり体験したりことで、資料では分からない縄文時代の人々の生活の苦労を感じ、現代の生活の豊かさに気付くことができる。また、歴史学習の初めの単元として興味・関心が高められると思う。
- 他の施設と比べても体験活動が充実している。活動後、児童一人一人に制作した物が残るので、よい思い出になる。2つの施設を訪れることにより、教室の授業だけでは得られない学びが多くあると感じた。
- 専門的な知識のある職員の方々の説明と体験学習のおかげで、学校の授業だけの学習よりも興味や関心だけでなく、理解も深めることができるから。社会科の学習を進めていくうえで、児童にとって貴重な経験になると思います。
- 体験的な活動がとても効果的で、深い学びができる校外学習となりました。交通費の負担の面でも、とてもありがたいです。見学だけでは、集中が続かないような実態のある児童でも楽しく学ぶことができたと思います。
- 石器の体験活動では、講師の質問に対し、自信を持てずなかなか発言できない様子がありました。改めて、児童の課題を確認する良い機会となりました。
- 歴史への興味関心を広げ、学習してきたことを深めることができるから。
- 送迎バスがあり、大変助かりました。おかげで時間等も予定通りに活動することができました。ミュージアムや縄文の森広場の職員やボランティアの方々が、子供たちの学びに対してとても丁寧に対応してくださっていました。
- 見学や体験を通して、児童が縄文時代に興味を持ち、より深く学ぶ様子が見られた。
- 体験活動や展示物の説明、また竪穴住居に実際に入るなどの体験活動を通して、「自分ごと」にしづらい歴史への理解を深めることができたため。
- 身近に遺跡があることや当時の暮らしについて、実際に目で見て触れられるのは有意義だと思う。
- 上記2で書かせていただいた通り、教育的な効果が高かったことは大きいです。また、近年バス代が高くなっている状況下において、バス代の補助があることも大変ありがたく感じています。
- 授業での学習内容と必ずしも合致しているわけではない。

3.『館職員へのご要望やご意見、今後の利用学習事業に期待することがあればご記入ください。』

回答17校 (○肯定的な意見 △今後の検討課題 ■否定的な意見 ※複数回答校あり)

- 体験では、講師の先生から作業を一つ一つ丁寧に説明していただいたり、ボランティアの方々に励ましの声を掛けていただいたりしたことで、児童は楽しみながら安心して活動を行うことができました。お忙しい中、ご準備していただき大変感謝しております。ありがとうございました。
- 充実した活動を用意してくださりありがとうございました。事前や事後でこちらの至らない点が多く大変ご迷惑をお掛けして申し訳ありませんでした。今後ともどうぞよろしく願いいたします。
- 体験活動をしながら、その時代時代に関する興味をそそられるご指導をいただき、たくさん学習できたことにみんな満足して帰って参りました。芝生広場での狩人の出現を見ることができ、実際に関わりを持つことができたのも子ども達にとって印象的だったようです。非常に貴重で充実した学習をさせていただき、ありがと

うございました。

- 児童の質問にも丁寧に対応していただき、感謝申し上げます。目を輝かせながら意欲的に活動する姿がたくさん見られ、うれしく感じました。本当にありがとうございました。昨年は両施設の利用に時間差がありましたが、地底の森ミュージアムの方で外の体験を入れてくださったことで時間差がなくなり、子供たちが一緒に昼食を摂ることができ、大変喜んでいました。
- 勾玉作りでも施設見学でも、児童が取り組みやすい場の設定や、興味関心を深めるような声掛けがあり、児童が安心して学習に臨むことができた。
- 職員の方々の説明が大変丁寧で、子供たちの活動がスムーズに進められました。また、早めの到着や厳しい暑さに対しても、丁寧に対応していただき、ありがたく感じました。ありがとうございました。
- とても丁寧な対応をしていただき、ありがとうございました。職員の皆様のおかげで子どもたちは貴重な体験をすることができました。今後もこの事業が継続されることを願っております。
- これからも、同様のプログラムで継続していただければと思っています。
- 丁寧に説明していただきありがとうございました。
- 交通費も負担していただいたため、より利用しやすかった。
- 子供たちの興味を高めようという工夫が随所に見られ、楽しかったです。
- 特にありません。特に地底の森ミュージアムは、本校の場合、小学校生活6年間で数限りなく何度も利用させていただいているので、職員の方も子供たちを知ってくれているのが、学校として大変心強い思いです。
- △ 地底の森ミュージアムでの展示を見る時間が少なく、子供たちが残念に思っていました。せっかくの展示ですし、ワークシートもあることから、「ゆっくりと見学してワークシートを書く時間がほしかった。」と子供たちが感想で話していましたので、ご検討いただけたらありがたいです。
- △ 謎解きブック等へ書き込む時間がもう少し確保してあると良いと思います。
- △ 昼食時間が短かったため、もう少し時間を確保できるとよかったです。

#### 4.『その他のご意見がございましたらご記入ください。』

#### 回答14校

(○肯定的な意見 △今後の検討課題 ■否定的な意見)

- 子供たちのために様々な面での御配慮ありがとうございました。今後も積極的に施設を利用できたらと考えております。
- 子ども達のために3つの見学・体験コースを用意していただき、本当にありがとうございました。おかげさまで、じっくり歴史を味わうことができました。心より感謝申し上げます。
- 児童の興味を引くような解説をしていただき、楽しみながら積極的に学習ができました。ありがとうございました。
- 石器に触れる体験や、石のアクセサリ作り体験に集中して取り組む子供たちの姿に、学習の場として大変有効であると感じました。ぜひ、来年度も同様のプログラムで実施したいと思います。
- バスの手配など、交通面の補助があるのはとてもありがたいと感じた。来年度以降も継続していただけたらと思います。
- この度は、児童への指導など様々な場面で御配慮をいただきました。本当にありがとうございました。
- 今回の校外学習は社会科と総合的な学習の時間の両方の目標を持たせて行いました。総合的な学習の時

間では、仕事調べや自分の将来について考えます。仕事をする大人の動きを良く観察することや学芸員など公共施設で働く人など、たくさんの仕事に触れることができました。今回は旧石器人との交流をすることができ、とても幸運でした。旧石器人に興味津々で、あの人達は「仕事なのかなぁ」と話していました。大人の動きや仕事について考えるという目標を達成することができました。

- とても充実した見学内容でした。また体験活動も児童の興味関心があるものでとても良かったと思います。ありがとうございました。
- 打ち合わせ時や見学時の丁寧な対応など、本当にありがとうございました。
- △ 今回、この事業を利用させていただき、唯一、昼食場所に不安がありました。雨天または寒さ、暑さなどを考えるとどこか避難できる昼食場所の設定があると、引率側としてはありがたいです。

## 5.まとめ

令和5年度の利用学習事業参加申込は、市内小中学校18校で、すべての学校が予定通りの施設見学学習と体験学習を終えることができた。

令和元年度の当事業利用校は28校、参加児童数 1,869 人であったが、新型コロナウイルス感染症の流行が顕著となった令和2年度以降、利用校・利用者数とも令和元年度の3分の2程度まで減っている。この傾向は、予防対策が緩和され、行動規制が撤廃された今年度も続いている。

<利用学習事業利用校数・参加児童数の推移>

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用校数(校)	28	28	13	19	21	18
参加児童数(人)	1,844	1,869	1,014	1,220	1,380	1,103

また、令和5年度の利用18校の所在地は次の通りである。

<利用学習事業利用18校の市内区ごとの所在地>

青葉区	泉区	宮城野区	若林区	太白区
4	0	2	3	9

利用学校の半数が両館の所在地である太白区の学校であった。交通費の補助は、保護者の経費負担軽減に大いに役立ち、魅力ではある。しかし、遠隔地になればなるほど時間の制約が掛かってしまうことが、太白区以外の利用校が少ない理由と考えられる。

本来、この事業は、両館を積極的に利用することによって教育効果をさらに高めることを目的としている。そのために、各学校から両館への往復の交通費を補助する事業である。交通費が事業予算内であれば、全額が補助され、予算内に収まらなければ不足分を負担していただいている。今年度は、全額を補助することができた。ちなみにバスは、補助席を使わない座席数から配車バスの大きさと台数を算出し、複数の業者からの見積もりを取って、毎年業者を選定し直している。

今年度の新型コロナウイルス感染症対応は、5月から各事業所の判断で対応することとなり、3密の回避は継続しつつ、マスク着用や手指消毒は任意、受付時の体温測定・使用した道具の消毒対応は廃止した。

地底の森の対応としては、

- ・ 説明や解説を行う際も密状態を回避する。

- ・ 児童が同一方向を向いて活動できるよう、座席位置を調整する。

<地底の森での活動対応表>

会場	展示室(地下・1階)	研修室	屋外芝生広場
内容	・遺跡の展示解説 ・ワークシートを用いた自由見学	・石器使用体験 ・年表を用いた説明	・ミュージアムシアター 「狩人登場」鑑賞

縄文の森の対応としては、

- ・ 体験活動を室内で行う際、1テーブル対角2人掛けとして、最大80人同時受入対応する。
- ・ 施設見学の際は、30人を超えないようにグループの人数調整を行い、密状態を回避する。

<縄文の森での活動対応表>

会場	体験活動室	屋根付き体験空間	展示施設
内容	・施設の紹介、縄文時代の説明 ・主に「土製品づくり」「勾玉・石のアクセサリーづくり」体験	・主に「火起こし」体験	・屋内外展示資料解説見学

両館での利用学習事業が原因での新型コロナウイルス感染の報告は今のところない。次年度以降も、状況に応じながら、柔軟に適切な対応策を講じていきたいと考える。

本年度の参加校から提出された事後報告書を見ると、18校中17校が「施設を利用した学習活動が期待通りにできた」「本事業に今後も参加したい」と回答している。その主な理由としては、展示された実物資料を見たり、触れたり、説明を聞いたりすることで、旧石器時代や縄文時代の人々の生活や思いを楽しく想像できたこと。また、体験活動を通して、歴史学習に興味・関心を高め、理解を深めることができたこと等を挙げている。五感を通して学ぶことができる博物館の持つ特長を生かしながら、学校と連携することで、教育効果がさらに高まることを示す内容であった。

一方、この事業参加校が固定化している傾向にあり、増えていないことが課題である。「指導時数に余裕がない」「学校と両館が物理的に離れている」「事業そのものの存在を知らない」などの理由が考えられる。今後、事業広報の時期を検討したうえで、市内各学校に、直接事業説明をする機会を設けることにも積極的に取り組んでいく必要がある。